

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 21 年度	学位名	修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名 姜 廷棟
指導教員氏名 佐藤 亮			
報告書題目 サービス・イノベーションとしてのものづくりの発展 (変種変量生産型企業のビジネスプロセス)			
報告書概要 <p>本研究では、変種変量生産におけるベストプラクティスとしてコマツに着目し、これからのものづくり発展のあり方をサービス・イノベーションの観点から考察することを目指している。工場見学をふまえ、SCOR モデルにより、コマツのビジネスプロセスを分析する。変種変量生産型企業ビジネスプロセスの成功コツを明らかにし、企業の実証研究や文献調査を通じて、SSM-IA の観点から、ものづくりの行き方を検討する研究である。</p> <p>顧客ニーズの個性化や社会の情報化に従い、ものづくり業界では製品の品種と量の両方の激しい変化になり、だれでもこの変化を見込めなくなった。その同時に、ものづくり企業では製品ライフサイクルの短縮、品種の多様化、販売量の予測困難、グローバル競争の過激、海外進出による海外調達増加、生産能力の不足などの様々な問題が起こった。ものづくり企業は顧客のニーズに応えるために、市場要求の品種と量の両方の激しい変化に対応する変種変量生産をしなければならない。</p> <p>それで、モノづくりを担う製造業各社はこれから激しい環境の中では、変種変量生産をいかに効率的に乗り切っていくか、その方法が企業の運命を分けると言っても、過言ではないと思う。</p> <p>今までの先行研究では、生産現場への強化をばかりばらばら注目されている。生産現場の強化を目指すだけでなく、また別の切り口があると思う。本章では、これからのものづくりのあり方に関して、売れる製品の質の向上のために、生産現場の最適化のための改善方法とビジネスプロセスの新しいやり方を検討する。</p>			
審査日	平成 22年 2月 3日		
審査員	(大学名・職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 准教授	Master of Science in Financial Economics	高安 雄一
副査	筑波大学 教授	理学博士	佐藤 亮
副査	筑波大学 准教授	Ph.D.in Organizational Behavior	渡辺 真一郎